岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 24 年度 第 3 回理事会

平成 25 年 2 月 25 日(月)　15:00～17:00
盛岡北高等学校 南講義室

次第

開会　専門部長挨拶　自己紹介　議長選出

報告　1　事業報告
(1) 大会事業　4
(2) 講習会事業　4
(3) 顧問研修事業　5
(4) その他　5
2　会計中間報告
(1) 一般会計中間報告　6
(2) 事業費会計①NHK 杯県大会決算報告　7
3　第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会報告　7

協議　1　事業費会計決算報告
(1) 事業費会計②新人大会 決算報告　8
(2) 事業費会計③講習会事業 決算報告　9
2　平成 25 年度事業の推進について
(1) 役員(非改選期)　10
(2) 事業計画　10
(3) 平成 25 年度第 1 回理事会での協議事項について　12
3　その他
(1) 北海道放送技術講習会への生徒派遣について　12
(2) その他　12

連絡　1　平成 25 年度以降の上位大会
(1) 確定している日程等　13
(2) 第 60 回 NHK 杯全国高校放送コンテストについて　13
(3) 第 37 回全国高等学校総合文化祭放送部門について　14
(4) 第 17 回東北高等学校放送コンテストについて　14
2　平成 26 年度の事業日程(予定)　15
3　その他
(1) 高文連登録について　16
(2) 盛岡支部主催番組講習会について　16
(3) 高文連理事会報告　16
(4) 旅費の計算について　16
(5) その他　16

閉会

資料　平成 24 年度大会結果　16
岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約　16
平成 24 年度高文連紀要原稿　16

http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/bod20130225.pdf

平成 24 年度役員　(理事校　29)

専門部長	岩手県立盛岡北高等学校長	佐野武德	事務局校
副専門部長	岩手県立盛岡第四高等学校長	須貝竹志	次期事務局校
専門部代表理事	岩手県立盛岡北高等学校	田口キヨ	**事務局長**

専門部理事

岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広・谷藤さなえ	平成 44～45 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	小田諭	平成 32～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二・斎藤信太郎	平成 34～35 年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	水車明子(監事)	次期事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	舟山美知・熱海千乃・川又謙也・中井絵美・佐藤昇広(事務局)	
岩手県立盛岡南高等学校	細川明典	平成 36～37 年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	佐々木裕子・岡垣百合奈	平成 38～39 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	小林由美子・齊藤美保	
岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也・太田原章克	平成 40～41 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木則子・高橋昭宏	平成 42～43 年度事務局校
盛岡市立高等学校	菊池博之(監事)・佐藤桂子	平成 46～47 年度事務局校
岩手高等学校	松田満(盛岡支部理事)・岡本久雄	平成 28～29 年度事務局校
盛岡白百合学園高等学校	熊谷奈穂・菅原浩	平成 30～31 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	髙橋愛(花巻支部理事)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	曽我範晃(北上支部理事)・舘昌章	
専修大学北上高等学校	昆洋子・野村学	
岩手県立前沢高等学校	小野寺幸利	
岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷(奥州支部理事)・千葉英美	
岩手県立千厩高等学校	久慈千鶴子(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉(気仙支部理事)	
岩手県立釜石高等学校	髙橋篤志(釜石支部理事)・岩鼻清一	
岩手県立大槌高等学校	高橋啓・吉田哲郎	
岩手県立山田高等学校	岡田伸一郎	
岩手県立宮古高等学校	山崎治子(宮古支部理事)・小笠原潤	
岩手県立宮古工業高等学校	菊地達哉(上位大会担当)	
	NHK 杯運営委員・高文連全国放送専門部理事・東北大会事務局・東北アナ朗事務局	
岩手県立宮古水産高等学校	大石敦子	
岩手県立久慈高等学校	木村飛雄馬(久慈支部理事)	
岩手県立沼宮内高等学校	菊池久恵	
岩手県立福岡高等学校	松尾美幸(二戸支部理事)・馬淵祥介	

オブザーバー

岩手県立花北青雲高等学校	前田康男
岩手県立北上翔南高等学校	千葉隆
岩手県立杜陵高等学校宮古分室	高舘信子

報告１　事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	10	火	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	25	水	理事総会･第1回理事会	盛岡北高	放送専門部
5	18	金	第64回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第一･盛岡第二)	運動公園	協力事業 県高体連
5	21	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	4 5	月 火	第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第58回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (28校･128名+283名･198エントリー)	県民会館	放送専門部･NHK
7	2 3	月 火	第12回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (8校･23名･15エントリー)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	8	日	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 (8校･24名･15エントリー)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21	土	交通安全テレビCM制作講習会1 (4校･36名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
7	23 26	月 木	第59回NHK杯全国高校放送コンテスト (10校･72名･26エントリー)	NHKホール他（東京）	全放連･NHK
7	26	木	Nコン番組制作セミナー (4校･30名)	NHK放送センター内会議室(東京)	全放連･NHK
8	4	土	交通安全テレビCM制作講習会2 (8校･71名)	IBC岩手放送	協力事業 IBC岩手放送
8	7	火	短歌甲子園アナウンス講習会 (9校･22名)	おでって	協力事業 盛岡市
8	10	金	高文連全国放送専門部都道府県代表者会議	富山国際会議場	全国高文連
8	11 12	土 日	第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会) 放送部門(7校･30名･10エントリー)	富山国際会議場･富山市民プラザ	全国高文連
8	24 26	金 日	第7回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一･盛岡第二･盛岡第三･盛岡北･盛岡市立･ 岩手･盛岡白百合･花巻北･宮古)	姫神ホール･盛岡劇場	協力事業 盛岡市
9	7	水	第2回理事会	盛岡北高	放送専門部
9	16	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (20校･140名，うち県外7校･10名)	県民会館	放送専門部
9	16	日	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	県民会館	東北高文連 主管事業
10	5	金	第35回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (大船渡)	大船渡市民文化会館	県高文連 (気仙支部主管)
10	10	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	6 7	火 水	第35回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第30回岩手県高等学校放送新人大会 (22校･239名･179エントリー)	県民会館	放送専門部
11	24	土	セミナーサポート事業④番組講習会 (13校･84名)	県民会館	放送専門部
12	23	日	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (10校･54名)	県民会館	放送専門部
12	26 27	水 木	校内放送指導者講座 (2名派遣･計7名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連･NHK
2	2 3	土 日	第16回東北高等学校放送コンテスト (81校･591名，県内は15校･163名･44エントリー)	県民会館	東北高文連 主管事業
2	4	火	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	25	月	第3回理事会･会計監査	盛岡北高	放送専門部
3	23	土	第60回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連･NHK
3	24 25	日 月	北海道高文連放送専門部第12回放送技術講習会 (盛岡第二1名派遣)	定山渓ホテル(北海道札幌市)	北海道高文連 放送専門部
3	27	水	番組講習会	アイーナ	放送専門部 盛岡支部

(1) 大会事業

・いずれも第 35 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催しました。全結果は巻末に掲載。

ア　第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会　6 月 4 日(月)-5 日(火)　県民会館

・NHK 杯全国大会(平成 24 年 7 月)の予選として実施

イ　第 30 回岩手県高等学校放送新人大会　11 月 7 日(水)　県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(岩手大会，平成 25 年 2 月)ならびに第 37 回全国高等学校総合文化祭放送部門(長崎大会，平成 25 年 8 月)の予選として実施

・第 37 回全国高総文祭参加推薦は次のとおり

アナウンス部門…黒沢尻北(2)千葉紗也香，黒沢尻北(2)菅野光希，盛岡第二(1)松嶋莉花

朗読部門…盛岡第三(2)柴崎文葉，宮古(2)佐々木瑞乃，盛岡第一(2)梁田麻佳

オーディオピクチャー部門…宮古，ビデオメッセージ部門…宮古工業，盛岡第一

ウ　上位大会等

① **第 12 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**　(7/2-3　担当：宮古工業高校 菊地達哉)

岩手県高文連放送専門部の主管で実施

② **第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト**　(7/23-26　担当：宮古工業高校 菊地達哉)

ラジオドキュメント部門初の決勝進出，入賞 5+研究奨励 2

③ **第 36 回全国高等学校総合文化祭放送部門**　(8/11-12　担当：宮古工業高校 菊地達哉)

AP 部門では 2 年連続の入賞，入賞 1

④ **第 16 回東北高等学校放送コンテスト**　(2/2-3　担当：宮古工業高校 菊地達哉)

主管県として運営を担当，入賞は東北最少の 6 にとどまる

(2) 講習会事業

・セミナーサポート事業，盛岡支部事業，上位大会関連事業，協力事業関連として実施しました。

ア　放送専門部・盛岡支部主催

① **アナウンス朗読講習会**　7 月 8 日(日)　NHK 盛岡放送局

児玉隆アナ・高橋秀和アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導

② **放送講習会**　9 月 16 日(日)　県民会館

函館中部高等学校放送局 白鳥宏之先生と堀田千広さん(2 年)・吉田麻希さん(2 年)を招聘。県外校も参加

③ **メディアコミュニケーションセミナー**　10 月 10 日(水)　県民会館・テレビ岩手

高橋美佳・中野圭(テレビ岩手)，加藤久智・奥村奈穂美(IBC 岩手放送)各氏による部門別の講習

④ **番組講習会**　11 月 24 日(土)　テレビ岩手

中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導

⑤ **アナウンス朗読講習会**　12 月 23 日(日)　県民会館

安田知博氏による東北大会出場者等への指導

⑥ **番組講習会**　3 月 27 日(水)　アイーナ，盛岡支部主催

中野圭氏(テレビ岩手)による指導を予定

イ　上位大会関連・協力事業関連

① 交通安全テレビ CM 制作講習会　(7/21・8/4　IBC)

IBC と盛岡情報ビジネス専門学校による CM 制作についての指導。2 回同内容でのべ 12 校 107 名参加

② N コン番組制作セミナー　(7/26　東京 NHK 放送センター内会議室)

NHK 杯全国大会後に東京で実施。宇治橋祐之氏(NHK 制作局デスク)他による指導。盛岡第一・花巻北・黒沢尻北・宮古工業の 4 校参加

③ 短歌甲子園司会講習会・第 7 回全国高校生短歌大会司会　(8/7・24-26　盛岡劇場ほか)

畑中美耶子氏による指導。9 校が担当

④ その他

・県高総文祭総合開会式(大船渡 10/5)

・高総体開会式司会(盛岡第一･盛岡第二 5/18)

・IAT 純情応援歌(6-7 月)

・IAT シリーズ卒業(3 月)…9 校参加の予定

(3) 顧問研修事業

・校内放送指導者講座(12/26-27，千代田放送会館)に 2 名派遣，6 名参加補助をおこないました。

・この講座への岩手からの参加者は累計 23 名(複数回参加を除く)となり，指導力・審査力の向上につながっています。

(4) その他

ア　部員数調査…第 2 回理事会で報告

イ　高文連表彰…第 2 回理事会で報告

次のとおり県高文連に推薦し，県高総文祭総合開会式(10/5(金)大船渡市民文化会館)で表彰。

連盟賞(生徒表彰)…平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日に全国大会(総文祭･NHK 杯など)で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・宮古工業高校放送委員会…

第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテストラジオドキュメント部門優秀賞

・盛岡第三高校視聴覚委員会…

第 36 回全国高等学校総合文化祭放送部門オーディオピクチャー部門優秀賞

功労賞(教職員表彰)…平成 23 年度末に退職した教職員で，専門部長・指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞したもの，指導者として全国大会に 10 回以上出品・出演させたもの(高文連表彰規程は平成 24 年 4 月 13 日に改定，専門部事務局長は対象外となった)。

・今年度該当無し

ウ　北海道高文連放送専門部放送技術講習会への生徒派遣

盛岡第二 松嶋莉花と引率 小田諭先生を派遣　→　協議 3

報告 2　会計中間報告

(1) 一般会計中間報告(平成 25 年 2 月 22 日現在)

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	前年度繰越	150,287	150,287	0	
B	登録料				
B-01	学校登録料	100,000	120,000	20,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02	個人登録料	70,000	85,000	15,000	講習会参加生徒1人あたり500
	登録料小計	170,000	205,000	35,000	
C	参加料				
C-01	NHK杯県大会参加料	160,000	154,000	-6,000	1エントリーあたり1,000
C-02	新人大会参加料	150,000	147,000	-3,000	1エントリーあたり1,000
	参加料小計	310,000	301,000	-9,000	
D	補助金				
D-01	県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯･新人大会
D-02	セミナーサポート費	430,000	430,000	0	講習会
D-03	強化費	50,000	50,000	0	新人大会
D-04	専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯･新人大会
D-05	研修費	50,000	50,000	0	講習会･研修事業
	補助金小計	780,000	780,000	0	
E	雑収入	713	37	-676	利子
	合計	1,411,000	1,436,324	25,324	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	運営費				
A-01	分担金	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02	事務費	5,000	290	4,710	事務費･通信費･会議費
A-03	旅費	50,000			
	運営費小計	65,000	10,290	4,710	
B	事業費				
B-01	NHK杯県大会	320,000	236,993	83,007	事業予算･決算別途
B-02	新人大会	370,000	387,368	-17,368	事業予算･決算別途
B-03	講習会	430,000	461,340	-31,340	事業予算･決算別途
B-04	研修事業	75,000	230,180	-155,180	全国研修会派遣補助等
	事業費小計	1,195,000	1,315,881	-120,881	
C	予備費	151,000		151,000	
	総計	1,411,000	1,326,171	34,829	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,436,324 -1,326,171 = 110,153 (次年度繰越金)

・次年度第 1 回理事会で決算報告をおこなう。

・登録料について，被災校の学校登録料免除(8 校 48,000 円)，被災者の個人登録料免除(24 名 12,000 円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は 13,000 円の増。

・年度内の出納として，雑収入として利子と東北会計からの返金がある見込み。

(2) 事業費会計①NHK 杯県大会　決算報告

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	参加料	160,000	154,000	-6,000	一般会計収C-01
2	県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3	専門部補助	100,000	42,993	-57,007	一般会計収D-04
4	強化費	10,000	0	-10,000	一般会計収D-03
5	一般会計より	10,000	0	-10,000	一般会計収B
合計		320,000	236,993	-83,007	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	45,000	42,360	2,640	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		65,000	42,360	22,640	
B	旅費				
B-01	県大会関係	50,000	54,472	-4,472	第1回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	105,000	30,980	74,020	担当者会議
旅費小計		155,000	85,452	69,548	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	58,420	-8,420	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	14,851	-4,851	事務用品
需用費小計		60,000	73,271	-13,271	
D	役務費	5,000	2,910	2,090	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	35,000	33,000	2,000	上位大会被災校参加料
総計		320,000	236,993	98,911	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 236,993 -236,993 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成24年9月7日　監査　菊　池　博　之

監査　水　車　明　子

・第 2 回理事会で決算報告済み。
・参加料について，被災校・被災者の免除(8 校 40 エントリー40,000 円)をおこなった。参加料の前年度決算額との増減は 6,000 円の増。
・予備費から，被災校・被災者の東北高等学校アナウンス朗読コンテスト参加料(1 校 2 名 5,000 円)と NHK 全国高校放送コンテスト参加料(3 校 5 エントリー28,000 円)を支出した。
・支出決算額の前年度決算額との増減は 20,618 円の増。

報告 3　第 16 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会報告

・事業報告は，次年度第 1 回理事会でおこなう。
・大会参加状況については報告 1(1)のとおり。

協議 1　事業費会計決算報告

(1) 事業費会計②新人大会　決算報告

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	参加料	150,000	147,000	-3,000	一般会計収C-02
2	県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3	専門部補助	70,000	127,007	57,007	一般会計収D-04
4	強化費	40,000	50,000	10,000	一般会計収D-03
5	一般会計より	70,000	23,361	-46,639	一般会計収B
合計		370,000	387,368	54,007	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費				
A-01	審査員謝金	80,000	80,210	-210	20,000*4
A-02	表彰費	50,000	47,770	2,230	楯(最優秀賞･優秀賞)
報償費小計		130,000	127,980	2,020	
B	旅費				
B-01	県大会関係	50,000	56,566	-6,566	第2回理事会･設営等
B-02	上位大会関係	90,000	80,680	9,320	全国高文連放送専門部･東北理事会
旅費小計		140,000	137,246	2,754	
C	需用費				
C-01	食糧費	50,000	47,720	2,280	審査員･係昼食
C-02	資料費	10,000	10,472	-472	事務用品
需用費小計		60,000	58,192	1,808	
D	役務費	5,000	3,950	1,050	郵券･上位大会手続き･手数料
E	予備費	35,000	60,000	-25,000	上位大会被災校参加料
総計		370,000	387,368	-17,368	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 387,368 -387,368 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成25年2月25日　監査　菊　池　博　之

監査　水　車　明　子

・参加料について，被災校・被災者の免除(5 校 32 エントリー32,000 円)をおこなった。参加料収入の前年度決算額との増減は 7,000 円の増。
・予備費から，被災校・被災者の東北高等学校放送コンテスト参加料(2 校 10 エントリー60,000 円)を支出した。
・支出決算額の前年度決算額との増減は 117,079 円の増。

(2) 事業費会計③講習会事業　決算報告

1 収入の部　　(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
1	セミナーサポート費	430,000	430,000	0	一般会計収D-02
2	強化費		0	0	一般会計収D-03
3	専門部補助		0	0	一般会計収D-04
4	研修費		31,340	31,340	一般会計収D-05
5	一般会計より			0	一般会計収B
合計		430,000	461,340	31,340	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A	報償費	150,000	191,434	-41,434	講師謝礼@20,000/日
B	旅費				
B-01	講師旅費	120,000	140,795	-20,795	高文連規定による定額
B-02	講師宿泊費	60,000	98,000	-38,000	高文連規定による定額
旅費小計		180,000	238,795	-58,795	
C	需用費				
C-01	資料作成費			0	
C-02	印刷代	50,000		50,000	
C-03	教材作成費			0	
C-04	講師昼食代	20,000	30,111	-10,111	講師･役員
C-05	消耗品費			0	
需用費小計		70,000	30,111	39,889	
D	役務費				
D-01	郵便料金		1,000	-1,000	
D-02	宅配料金			0	
D-03	運搬費			0	
D-04	振込手数料			0	
D-05	その他通信費			0	
役務費小計		0	1,000	-1,000	
E	使用料･貸借料				
E-01	会場費	10,000		10,000	
E-02	機器使用料	10,000		10,000	
使用料･貸借料小計		20,000	0	20,000	
F	予備費	10,000	0	10,000	
総計		430,000	461,340	-31,340	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 461,340 -461,340 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成25年2月25日　監査　菊　池　博　之

監査　水　車　明　子

・事業ごとの支出額は次のとおり。

①アナウンス朗読講習会(7/8)	5,250 円
②放送講習会(9/16)	146,044 円
③メディアコミュニケーションセミナー(10/10)	102,380 円
④番組講習会(11/24)	29,617 円
⑤アナウンス朗読講習会(12/23)	148,049 円
番組講習会(3/27) への補助	30,000 円
合計	461,340 円

協議 2　平成 25 年度事業の推進について

(1) 役員(非改選期)

・平成 25 年度理事総会(第 1 回理事会)で正式決定します。平成 25 年度の顧問が決まり次第，事務局にお知らせください。
・専門部理事は，「大会に参加する学校ならびに盛岡支部の学校」を原則とすることから，現在の理事校で顧問が交代する場合は，引き続き理事校であることを引き継いでください。
・今年度，新たに大会に参加した学校(理事会オブザーバーの花北青雲，北上翔南，杜陵宮古分室)は，平成 25 年度も大会に参加する場合，理事校とします。
・平成 25 年度に新たに大会に参加する学校があれば，今年度と同様，理事会のオブザーバーとします。

(2) 事業計画

従来どおり，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成します。次の日程原則により，次ページのとおり会場を確保しています。それぞれの要項は，9月までのものは第1回理事会で，10月以降のものは第2回理事会で検討します。

日程原則

・第 1 回理事会(理事総会)
　4 月中・下旬
・NHK 杯県大会(県民会館)
　6 月第 2 週の月曜・火曜…高総体後・考査前
・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会…全国大会出場者対象
　7 月中旬…NHK 盛岡局との協議により決定
・第 2 回理事会
　9 月上・中旬
・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)
　敬老の日の前日…県外校招聘のため
・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)
　体育の日の翌々日…高総文祭開会式後。ただし，平成 25 年度は 10/9(水)
・新人大会(県民会館)
　11 月第 2 週の火曜・水曜…運動部の新人大会後・考査前
・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館)…東北大会出場者対象
　11 月下旬…TVI との協議により決定。平成 25 年度は 11/24(日)で確定(第 2 回理事会と変更)
・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館)…東北大会出場者対象
　天皇誕生日
・第 3 回理事会
　2 月中・下旬

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中･下旬		理事総会･第1回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
6	3 4	月 火	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第60回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会**	県民会館	**放送専門部･NHK**
7	1 2	月 火	**第13回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	中旬		**セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	22 25	月 木	**第60回NHK杯全国高校放送コンテスト**	NHKホール他（東京）	全放連･NHK
7	25	木	**Nコン番組制作セミナー**	(東京)	全放連･NHK
8	2	金	高文連全国放送専門部理事会	(長崎県諫早市)	全国高文連
8	3 4	土 日	**第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会)放送部門**	諫早文化会館	全国高文連
9	上･中旬		第2回理事会	盛岡北高	**放送専門部**
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(宮城県)	東北高文連
9	15	日	**セミナーサポート事業②放送講習会**	県民会館	**放送専門部**
10	4	金	**第36回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	奥州市文化会館	県高文連 (奥州支部主管)
10	9	水	**セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	5 6	火 水	**第36回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第31回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	24	日	**セミナーサポート事業④番組講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	23	月	**セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	8 9	土 日	**第17回東北高等学校放送コンテスト**	仙台市青年文化センター	東北高文連
2	中･下旬		第3回理事会･会計監査･盛岡第四高へ引継ぎ	盛岡北高	**放送専門部**
3	下旬		第61回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連･NHK

(3) 平成 25 年度第 1 回理事会での協議事項について

以下について，平成25年度第1回理事会(理事総会)で協議の予定です。

ア　個人登録料の廃止・学校登録料の前期・後期負担への改定について

・個人登録料(メディアコミュニケーションセミナー参加者数×500)を廃止する。
・学校登録料(NHK 杯県大会参加校×6,000)を，前期(NHK 杯県大会参加校×5,000)と後期(新人大会参加校×5,000)，あるいは年額 10,000 円として年度当初に集める。
・以上の変更による放送専門部会計の収入の変化は，ほとんどないとみられる。

イ　大会の 2 日日程での実施について

・エントリーの増加により，平成 24 年度の NHK 杯県大会は 2 日日程で実施した。平成 25 年度には NHK 杯 60 回記念イベント(校内放送総選挙)もあり，公開審査を前提とする場合，2 日日程とせざるを得ない。新人大会も同様に 2 日日程を原則とし，エントリー数に応じて 1 日日程に変更することとしたい。

ウ　大会でのエントリー順について

・従来，県大会のエントリー順については，慣例により，次の方法をとってきた。これを，乱数で無作為に配列することとしたい。

従来の方法

・直近の大会の結果に基づき，学校ごとの配列順を決める。
・各校のエントリー時の校内順位に従って，学校ごとの枠にエントリーを配列する。
・予選の区分があるアナ朗では，ひとつの区分に偏らないように調整をする。

・従来の方法では，エントリー順を決めるのにまる一日を要した。
・従来の方法では，各校の校内順位 1 位が各区分の最後に来るため，予選通過者がひとつの区分の最後に集中することが多い。

協議 3　その他

(1) 北海道高文連放送専門部放送技術講習会への生徒派遣について

北海道の放送技術講習会(1 年生対象)に，全国総文祭アナ代表の盛岡第二 松嶋莉花と引率 小田諭先生を派遣したい。東北大会への北海道のオブザーバー参加への返礼の意味もあると考えている。

(2) その他

連絡 1　平成 25 年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等

ア　NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

・60 回大会　平成 25 年 7 月 25 日(木)…連絡 1(2)
・61 回大会　平成 26 年 7 月 24 日(木)
・62 回大会　平成 27 年 7 月 23 日(木)

イ　全国高等学校総合文化祭

・37 回大会(長崎県諫早市)…連絡 1(3)
・38 回大会(茨城県日立市日立シビックセンター)　平成 26 年 7 月 30 日・31 日(木)
・39 回大会(滋賀県)　平成 27 年…平成 25 年 4 月に場所・日程発表予定
・40 回大会(広島県)　平成 28 年
・41 回大会(宮城県)　平成 29 年

ウ　東北高等学校放送コンテスト

・平成 25 年度宮城県→平成 26 年度山形県→平成 27 年度秋田県→平成 28 年度青森県→**平成 29 年度岩手県**
・秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回りめのローテーションでは，23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ，他をずらした。27 年度からの 4 回りめのローテーションでは,29 年度の全国総文祭に備えて 28 年度に宮城県を入れ,他をずらす可能性もある。

(2) 第 60 回 NHK 杯全国高校放送コンテストについて(口頭説明)　http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

ア　平成 25 年度からの変更点

・3/23 の担当者会議で通知がある見込み

イ　朗読指定作品

1)「夏草冬濤」井上靖(新潮文庫)
2)「語りかける花」志村ふくみ(ちくま文庫)
3)「茨の木」さだまさし(幻冬舎文庫)
4)「みずうみ」シュトルム著，関泰祐訳(岩波文庫，指定された訳者のみ)
5)「枕草子」清少納言(現代語訳不可，出版社不問)

ウ　60 周年記念企画　http://www.nhk.or.jp/event/n-con/

・校内放送自慢「総選挙 DE 生ライブ」…1 次予選で選ばれた 10 校の校内放送の様子を県大会等で公開し，投票で 3 校を選び，平成 25 年 7 月 25 日に NHK ホールで実演。2/25 に予選通過 10 校を公表，盛岡第一が選出された。盛岡第一以外は，兵庫県小野・北須磨・啓明学院，東京都上水，千葉県船橋・検見川，富山国際大付，静岡県日大三島，神奈川県弥栄の 9 校。
・「花は咲く」ミュージックビデオ…5/31 まで募集。平成 25 年 7 月 25 日に NHK ホールで入賞作品を上映。

(3) 第 37 回全国高等学校総合文化祭(長崎)放送部門について　　http://www.nagasaki-shiokaze.jp/

ア　長崎県顧問研修会(2/16-17)での情報について

・諫早駅から会場まで無料バスを運行する。顧問研修会は大会前日。

イ　準備日程

・宿泊等の申込み…3/1 サポート室で受付開始，長崎市内を推奨(諫早はインターハイウエイトリフティングを優先)

・部門別参加票などの締切…4/19

・作品/書類等一式…5/1 宮古工業必着，長崎必着は 5/7-13

ウ　担当

・アナウンス部門…黒沢尻北・曽我，朗読部門…盛岡第一・濱谷，番組 2 部門…宮古工業・菊地

エ　発表ブロック

・アナウンス部門…ブロック E(岩手・福島・山形・広島・長崎・宮崎)

・朗読部門…ブロック G(岩手・群馬・埼玉・神奈川・三重・岡山)

・オーディオピクチャー部門…ブロック G/H(茨城・神奈川・静岡・奈良・福岡・鹿児島 / 岩手・山形・愛媛・佐賀・宮崎・沖縄)

・ビデオメッセージ部門…ブロック H(岩手・山形・愛媛・佐賀・宮崎・沖縄)

オ　放送部門の運営関係

・規約の改定…全国高文連の公益社団法人化にともなう改定作業をすすめている。今年度は，専門部の名称を「高等学校文化連盟全国放送専門部」に，都道府県代表者会議を全国「理事会」と改めた。来年度は理事会で規約の改正をおこなう。

・表彰…平成 24 年(富山大会)から，発表時間帯でブロックに分け，個別審査で各ブロックから優秀賞 1・特別賞を出し，個々の審査点を都道府県ごとに加算して第 1 位の都道府県に文部科学大臣賞を，第 2 位に文化庁長官賞を出すこととした。平成 24 年度の文部科学大臣賞は富山県，文化庁長官賞は北海道が選ばれた。

・表彰に関する問題点…開催県は倍エントリーであるため複数ブロックに入ることとなり，文部科学大臣賞に選ばれやすい。開催県を 1 ブロックに収める必要があろう。また，今年度は開催県の都合で都道府県ごとの発表がばらばらにされてしまった。交流の場という「開催基準」にあわない実態となっており，これももとに戻す必要があろう。

・各部門における都道府県単位の発表(岩手案)については，長期的に検討することとなった。他の都道府県との連携を図り，NHK 杯とは異なる大会を実現したい。

(4) 第 17 回東北高等学校放送コンテストについて　　https://sites.google.com/site/miyagihousou/

・2/8(土)-9(日)　仙台市青年文化センター

・キャンペーン部門のキーワード：Forward 〜 前へ

連絡 2　平成 26 年度の事業日程(予定)

・協議 2(2)の日程原則により，次のとおり会場を予約しています。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中･下旬		理事総会･第1回理事会	盛岡第四高	**放送専門部**
6	2 3	月 火	**第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会**	県民会館	**放送専門部･NHK**
6 7	30 1	月 火	**第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト**	細野地区活性化センター	**東北高文連 主管事業**
7	中旬		**セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会**	NHK盛岡放送局	**放送専門部**
7	21 24	月 木	**第61回NHK杯全国高校放送コンテスト**	NHKホール他（東京）	全放連･NHK
7	24	木	**Nコン番組制作セミナー**	(東京)	全放連･NHK
7	29	火	高文連全国放送専門部理事会	茨城県日立市 ホテルテラスザスクエア日立	全国高文連
7	30 31	水 木	**第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)放送部門**	日立シビックセンター	全国高文連
9	上･中旬		第2回理事会	盛岡第四高	**放送専門部**
9	中旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(福島県)	東北高文連
9	14	日	**セミナーサポート事業②放送講習会**	県民会館	**放送専門部**
10	10	金	**第37回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式**	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	15	水	**セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー**	県民会館他	**放送専門部**
11	4 5	火 水	**第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第32回岩手県高等学校放送新人大会**	県民会館	**放送専門部**
11	23	日	**セミナーサポート事業④番組講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	23	火	**セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会**	県民会館	**放送専門部**
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連･NHK
2	上･中旬		**第18回東北高等学校放送コンテスト**	(山形県)	東北高文連
2	中･下旬		第3回理事会･会計監査	盛岡第四高	**放送専門部**
3	下旬		第62回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	(東京)	全放連･NHK

連絡 3　その他

(1) 高文連登録について

新年度の県高文連登録(顧問名登録ならびに生徒登録)の際は，委員会組織の場合も手続きをするよう，各校でお取り計らい下さい。

(2) 盛岡支部主催番組講習会について

担当：岩手高校・松田満

3/27(水)にアイーナで開催。講師は中野圭氏(テレビ岩手)。

(3) 高文連理事会報告

・総合開会式の会場と担当は次のとおり。

　平成 25 年度奥州支部，平成 26 年度盛岡支部，平成 27 年度久慈支部，平成 28 年度花巻支部

・平成 25 年度の高文連補助金の総枠を 100 万円程度抑える見込み。各専門部一律の減の場合，放送専門部では 4 万円程度の減になる可能性がある。

・県民会館の使用についても節約を求められている。今年度の放送専門部の県民会館使用料(減免)分は，778,550 円

・全国総文祭の生徒旅費補助は，6,500 円×2 泊の予定。

・高文連会報第 2 号は高総文祭リポートと内容が重複するため廃止。代わって新入生用高文連活動案内のリーフレットを作成する。

(4) 旅費の計算について

・理事会の旅費は，専門部が負担します。旅費の算出・報告をお願いします。

・各校の事務室で出張の実態(発着地，通勤経路との関係，私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい，理事会出席の報告時に，交通費(運賃・車賃)・現地経費を報告してください。

(5) その他

・高文連紀要(別紙)について，訂正等は 3/1(金)まで放送専門部事務局へ。

・平成 25 年度交通安全テレビ CM コンテストのグランプリ審査会は 11/13 を希望している。

・岩手高校から…「絵本読み聞かせフェスティバル in いわて」の案内。

・盛岡第三・渡邊憲二先生から…退職のご挨拶

・専門部長・佐野武徳先生から…退職のご挨拶

資料　平成 24 年度大会結果

(省略　放送専門部のサイト参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/)

資料　岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略　第 1 回理事会資料参照→　http://www2.iwate-ed.jp/housou/2012/bod20120425.pdf)

資料　平成 24 年度高文連紀要原稿

(省略　当日配布)